

こども みらい
ひろしま子供の未来
おうえん
みんなで応援プラン

れいわ ねんど れいわ ねんど
令和7（2025）年度～令和11（2029）年度

ばん
〔やさしい版〕

（案）

れいわ ねん がつ
令和7（2025）年 月



ひろしま けん
広島県

1 プランについて

「ひろしま^{こども}子供の未来^{みらい}みんなで応援^{おうえん}プラン」は、子供^{こども}たちが、育^{そだ}った環^{かん}境^{きょう}に
関^{かん}係^{けい}なく、将^{しょう}来^{らい}に夢^{ゆめ}や希^き望^{ぼう}を持^もって成^{せい}長^{ちやう}で^{ちやう}きる社^{しゃ}会^{かい}を作^{つく}るた^ために、広^{ひろ}島^{しま}県^{けん}が、
子^こ供^{ども}・若^{わか}者^{もの}の皆^{みな}さんや、地^ち域^{いき}、社^{しゃ}会^{かい}の^{ひと}と協^{きやう}力^{りよく}して取^とり組^くんでい^いくことをま^まと
め^めたもの^{もの}です。

2 プランの^{きかん}期間

令^{れい}和^わ7年^{ねん}4月^{がつ}1日^{にち}から令^{れい}和^わ12年^{ねん}3月^{がつ}31日^{にち}までの5年^{ねん}間^{かん}に取^とり組^くむ内^{ない}容^{よう}をま^まとめ
たもの^{もの}です。

3 子^{こども}供^{ども}・若^{わか}者^{もの}の^{いけん}意見

このプランが^め目^め指^さしている、子^{こども}供^{ども}たちが育^{そだ}った環^{かん}境^{きょう}に^{かん}係^{けい}なく、^{しょうらい}将^{しょう}来^{らい}に夢^{ゆめ}
希^き望^{ぼう}を持^もって成^{せい}長^{ちやう}で^{ちやう}きる社^{しゃ}会^{かい}を作^{つく}るた^ためには、子^{こども}供^{ども}・若^{わか}者^{もの}の^{みな}皆^{みな}さん^{いけん}の^き意^い見^{けん}を聞^き
きながら、一^{いっ}緒^{しょ}に取^とり組^くむことが^{たいせつ}大^{だい}切^{せつ}です。

そのた^ため、このプランを作^{つく}るときには、^{ひろしまけん}広^{ひろ}島^{しま}県^{けん}の^{こども}子^こ供^{ども}に^{かん}関^{かん}する^{とりくみ}取^とり組^くみで^{とく}特^{とく}に^{ちから}力^{りき}
を^い入^いれてほ^ほしいこと^{こと}につ^{につ}いて、^{こども}子^こ供^{ども}・^{わかもの}若^{わか}者^{もの}か^{いけん}らも^{いけん}意^い見^{けん}を^{もらい}もらい、^{ないよう}プランの^{はんえい}内^{ない}容^{よう}に
反^{はん}映^{えい}させ^{させ}まし^{まし}た。

も^{いけん}ら^とった^い意^い見^{けん}を^いど^いう^い取^とり^い入^いれたか^かにつ^{につ}いては、「^{こども}子^こ供^{ども}・^{わかもの}若^{わか}者^{もの}の^{いけん}意^い見^{けん} ^{フィード}フィード
^{しりょう}バ^{しりょう}ック^{しょうかい}資^し料^{りょう}」で^{しょうかい}紹^{しょう}介^{かい}して^{して}いま^{いま}す。

4 ^{ひろしまけん}広^{ひろ}島^{しま}県^{けん}が^め目^め指^さす^{しゃかい}社^{しゃ}会^{かい}

す^{こども}べ^{わかもの}て^{しゃかい}の^{おうえん}子^こ供^{ども}・^{そだ}若^{わか}者^{もの}が、^{かんきょう}社^{しゃ}会^{かい}か^{かんけい}ら^{かんけい}で^{かんけい}応^{おう}援^{えん}さ^{かん}れ^{かん}な^{かん}が^{かん}ら、^{かん}育^{そだ}った^{かん}環^{かん}境^{きょう}に^{かん}係^{けい}なく、
^{しょうらい}将^{しょう}来^{らい}に夢^{ゆめ}や希^き望^{ぼう}を持^もって成^{せい}長^{ちやう}で^{ちやう}き、^{こども}子^こ供^{ども}を持^もちたい^{おも}と思^{おも}う^{ひと}人^{ひと}が、^{あんしん}安^{あん}心^{しん}して^{こども}子^こ供^{ども}
を持^もち、^{そだ}育^{そだ}て^{しゃかい}ら^めれる^め社^{しゃ}会^{かい}を^め目^め指^さし^めま^めす。

5 特に力を入れる取組

広島県が目指す社会をつくるために、特に次の3つのことに力を入れて取り組みます。

○ 少子化対策

結婚するかしないかや、子供を持つかどうかは個人の自由ですが、子供の数がこのまま減り続けると、地域・社会・経済を担う人が不足してきます。

子育ては大変なこともあります。国や県の調査では、子供を持つ理由として、「子供がいると生活が楽しく心が豊かになるから」「大変さより得られる喜びの方が大きいから」といった理由が多くなっています。

子供を持ちたいと思っても、いろいろな理由で希望をかなえられない人がいるため、希望する人が、安心して子供を産んで育てることができ、働きながらも子育てしやすい広島県を目指して、取組を進めます。

○ 乳幼児期における取組

0才から小学校に入るまでの子供の成長を、保護者だけでなく、幼稚園、保育所、学校や地域の人など、社会のみんなで応援します。

そのため、幼稚園や保育所などが、子供たちが安心して、体を動かしたり、楽しく遊んだりできる場所となるよう取り組みます。

○ 子供・若者を守る取組

まわりの大人からたたかれたり、ひどい言葉をいわれたりなどの虐待を受けている子供や、いじめを受けていたり、学校に行けない、家から出られないなど、不安や悩みを抱えている子供が、誰かに相談したり、助けを求めることができるよう取り組みます。

第二章 広島県が取り組むこと

1 0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育のこと

- 子供たちが安心して、体を動かしたり、楽しく遊んだりできるよう、幼稚園や保育所などの先生たちを応援します。
- 子供たちが幼稚園や保育所などで「遊び」を通して学んだことを、小学校に入ってしっかり発揮できるようにします。
- 保護者が、子供には「遊び」が大切と分かった上で、一緒に楽しく遊ぶ機会をたくさん作るようにします。

2 将来社会で活躍するために必要な力をつけること

- 子供たちが、小学校、中学校、高校で、それぞれの興味のある分野について、自分で目標や方法を決めて学び、問題を解決し、新しいものを生み出す力をつけるための教育を進めます。
- 海外留学を支援するなど、いろいろな国の文化や考え方について学ぶ機会をつくれます。
- いじめなど、子供たちが抱える悩みを相談しやすい環境や、いろいろな理由で学校に行くことができていない子供が、より身近で、安心して勉強できる居場所を作っていきます。
- 子供たちが自分の将来を考え、夢や目標を叶えるための力を身につけられるよう、地域や企業と協力して、体験活動などに取り組めます。

- にほんご がくしゅう むづか こともしえん べんきょう むづか かん こともしえん
日本語での学習が難しい子供を支援したり、勉強が難しいと感じる子供の
がくしゅう こともしえん じょうきょう あ
学習をサポートしたりするなど、子供たちがそれぞれの状況に合わせて
まな すす と く
学びを進められるよう取り組みます。
- こともしえん かね しんぱい まな しえん
子供たちがお金の心配をせずに学べるよう支援します。
- こともしえん きそくただ せいかつしゅうかん み けんこう せいかつ
子供たちが規則正しい生活習慣を身につけ、健康な生活ができるよう、
かてい がっこう ちいき きょうりょく と く
家庭、学校、地域などが協力して取り組みます。
ようちえん ほいくしょ たの からだ うご じかん つく がっこう
幼稚園や保育所で楽しく体を動かすことができる時間を作ったり、学校で
たいいく じゅぎょう よ と く
は、体育の授業をより良くできるよう取り組みます。

3 仕事や結婚、妊娠・出産の希望を叶えること

- 「子育てにはお金がかかる」という理由で子育てに不安を感じている人がいるため、国や広島県で行っている子育ての支援制度について紹介します。
また、若者が自分のやりたい仕事を見つけて、広島県で働けるよう支援したり、働きながら子育てしやすい会社を増やして、ずっと仕事を続けられるようにします。
- 結婚したいのに出会いがない若者に、出会いのきっかけをつくります。
- 子育てを体験する時間をつくったり、子育ての楽しさについて情報発信します。
- 子供が欲しくてもなかなかできずに悩んでいる人が相談しやすくしたり、治療をするための費用を助成して、不妊に関する不安や負担を減らします。

4 妊娠中からの子育てのサポート

- 子育てについて、いつでも気軽に相談できる場所をつくります。
- 妊婦さんや赤ちゃん、小さな子供たちが安心して健康診断を受けられ、病気などを早く発見し、必要な治療やサポートが受けられるようにします。
- 子供たちが健康に暮らし、将来、妊娠や出産などのそれぞれの希望を叶えられるよう、自分の体のことや、赤ちゃんが生まれるまでのことなど、妊娠・出産についての正しい情報が学べるようにします。
- 妊娠中の人や、子供を産んだばかりの人、子供たちが、病気になったときに安心して治療が受けられる体制を整えます。

5 子供たちの^{こども}悩みの^{なや}解決^{かいけつ}や居場所^{い ばしょ}づくり

- 学校^{がっこう}に行けない、家^{いえ}から出られない、いじめ^でにあっているなど、いろいろな悩み^{なや}や不安^{ふあん}を持って生活^もしている子供^{こども}たちが、自分^{じぶん}にとって身近^{みぢか}な相談^{そうだん}先にいっつも相談^{そうだん}できたり、家^{いえ}や学校^{がっこう}以外^{いがい}に安心^{あんしん}して過^すごせる居場所^{い ばしょ}を持てたりして、悩み^{なや}や不安^{ふあん}を一人^{ひとり}で抱え^{かか}ず、必要^{ひつよう}なサポート^うを受けられる仕組み^{しく}を作ります^{つく}。
- 家^{いえ}から出られないなどの理由^で、働^{りゆう}きたくても働^{はたら}けていない若者^{はたら}が、仕事^{わかもの}を見つけ^{しごと}、社会^みに出られるようサポート^{しゃかい}します。
- 子供^{こども}たちが体^{からだ}や心^{こころ}を傷^{きず}つけられることがないように、知識^{ちしき}や意識^{いしき}を高め^{たか}めるなど、被害^{ひがい}を防^{ふせ}ぐ取組^{とりくみ}を進め^{すす}めます。
また、もし被害^{ひがい}にあってしまったときに、一人^{ひとり}で悩^{なや}まずに相談^{そうだん}しやすい場所^{ばしょ}を作^{つく}っていきます。
- ふだんから家族^{かぞく}のお世話^{せ わ}などをして自分^{じぶん}のやりたいことが十^{じゅう}分にできない子供^{こども}（ヤングケアラーといひます）が、周り^{まわ}に助け^{たす}を求めやすくなるよう、子供^{こども}たち自身^{じしん}や周り^{まわ}の大人^{おとな}にヤングケアラーについて知^しってもらえるよう取組^とみます。
また、ヤングケアラーを支援^{しえん}するいろいろな機関^{きかん}が協^{きょうりよく}力^{りよく}して、ヤングケアラーの子供^{こども}やその家族^{かぞく}の生活^{せいかつ}をサポートします。

6 それぞれの働き方や生活に合わせて子育てできる社会にすること

- 子育てのための休みをとりやすくしたり、会社に行かず家で仕事ができたり、働く時間や場所を自分で選べたりするなど、子育てしながら働きやすい仕組みづくりをする会社を増やします。
- いつでも子供を安心して保育所に預けられるようにします。
また、子供たちを見守る保育士の先生が働きやすい職場にします。
- 親が働いている子供たちが、放課後に安心して過ごすことができるよう、放課後児童クラブを増やします。
- お母さんだけやお父さんだけが家事、子育てをするのではなく、お母さんとお父さんが協力して家事、子育てをすることができる社会にしていきます。

7 子供と子育てにやさしく安全なまちづくりのこと

- 子供や若者、子育てする人を社会全体で応援する雰囲気をつくりまします。
子供や子育てしている人が助かるサービスをしているお店を増やしたり、小さな子供を育てる人が、家以外で子供と一緒に遊べる場所を増やすなど、地域や社会の人と協力して子育てのサポートに取り組みます。
- 子供のいる家庭が生活しやすい家を見つけるサポートをしたり、子供やベビーカーでも乗りやすい、床が低いバスや電車を増やすなど、子供と子育てしている人が暮らしやすい街づくりを進めます。
- 子供たちが地震などの自然災害にあった時に、自分を守ることができるような教育に取り組みます。
- 子供を犯罪から守ります。また、悪い大人やインターネットでのトラブルなど、子供たちの周りの危険な人や物から自分を守ることができる教育を進めます。
- 正しい交通ルールや自転車の安全な乗り方などを学べる教育を進めます。

8 子供たちを虐待から守ること

- 児童虐待とは、子供が大人からたたかれたり、無視されたり、ひどい言葉を言われたりすることです。虐待が子供に与える悪い影響や、子供の心や体を傷つけない子育ての仕方について、広く発信し、虐待を防げるよう取り組みます。
- 子供を虐待から守るため、虐待について広く県民に知ってもらい、周りの人が虐待に気づいたときにすぐに相談窓口につながってもらえるよう取り組みます。
- 虐待が発見されたときには、県と市町が協力して、ふたたび虐待が起こらないよう、虐待のあった家庭を支援します。親子が離れて暮らすことが必要な時には、虐待を受けている子供を保護します。

9 家族と暮らすことができない子供のこと

- いろいろな理由で家族と一緒に暮らすことができない子供が、家庭と同じような環境で暮らせるよう、そういった子供を預かって育てることできる「里親」を増やします。また、里親と子供が安心して暮らせるようサポートします。
- 生まれた家庭や里親と暮らすことができない子供は、できる限り家庭に近い環境の、少人数の施設で暮らせるようにします。
また、施設で暮らしている障害のある子供や、虐待経験のある子供など、特別なケアを必要とする子供の暮らしをサポートします。
- 子供が親から離れて里親や施設で暮らすときには、子供自身が自分の希望や意見を大人にしっかり伝えられるようにし、その意見を大切にして、その子にあった支援を考えます。
また、施設を出た子供が、自分の希望に応じて学校に通ったり、働いたりできるなど、将来に不安なく生活できるようサポートします。

10 ひとり親のおや、こどもやその家族のこと

- ひとりで子供を育てているお母さんやお父さんをひとり親といいます。ひとり親はひとりで子供を育てながら働いていますが、やりたい仕事ができなかったり、収入が不足することがあります。そういった人が希望する仕事につけたり、困ることがないように、お母さんやお父さんをサポートします。
- ひとり親の子供が、将来の夢や目標をあきらめることがないように、学習ができる環境を作ったり、お金の心配をせずに学べるようにします。

11 障害のある子供とその家族のこと

- 生活にいつでも医療が必要な子供（医療的ケア児といいます）が、家族とともに安心して暮らせるよう、医療的ケア児のお世話ができる人や施設を増やすなど、医療的ケア児を支える家族の負担を減らします。
- 発達障害がある子供とその家族を支援します。
発達障害がある子供一人ひとりが、それぞれの状態や希望にあったサポートをできるだけ早くから受けられるよう取り組みます。
- 障害のある子供たちが、幼稚園・保育所などに入ってから小・中・高等学校などを卒業するまで、必要なサポートを受けながら学べるよう取り組みます。
- 障害のある子供たちが、学校生活の中でやりたい仕事や目標を見つけ、学校を卒業した後にそれが叶えられるよう、働く力を高めたり、将来について考えたりする学習の機会をつくります。

※ この「ひろしま^{こども}子供の^{みらい}未来^{おうえん}みんなで^{ばん}応援プラン〈やさしい版〉」は、プランに^か書いてあることを^{こども}子供・^{わかもの}若者の^{みな}皆さんにわかりやすく^{つた}伝えるため、^{こども}子供・^{わかもの}若者の^{みな}皆さんにも^し知ってほしいことを^{ちゅうしん}中心にとりあげて、やさしい^{ひょうげん}表現で^か書きました。

もっと^{くわ}詳しい^{ないよう}内容が^し知りたい人は、「ひろしま^{こども}子供の^{みらい}未来^{おうえん}みんなで^{ばん}応援プラン」を^み見てください。

「ひろしま^{こども}子供の^{みらい}未来^{おうえん}みんなで^{ばん}応援プラン」はこちら→（QR コード）

ひろしま^{こども}子供の^{みらい}未来^{おうえん}みんなで^{ばん}応援プラン
〔やさしい版〕

ひろしま^{けん}県 健康福祉局 ^{こども}子供^{みらい}未来^{おうえん}で^か応援課

〒730-8511 ^{ひろしま}広島^{けん}県^{ひろしま}広島市^な中区^{かくも}基町^{とまち}10-52

TEL : 082-513-3171 / FAX : 082-502-3674

E-mail : fukodomo@pref.hiroshima.lg.jp